

生活者ネット こくぶんじ No.152 2021年10月

発行/国分寺・生活者ネットワーク 発行責任者/田中由紀
連絡先/〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイソ103
TEL:042-328-1864 FAX:042-328-1878
http://kokubunji.seikatsusha.me/ E-mail:kokubunji@seikatsusha.net



国分寺市議会議員
たかせ
高瀬かおる



国分寺市議会議員
こさか
小坂まさ代

樹木の伝染病 「ナラ枯れ」が広がる

昨年夏頃からコナラやクヌギが赤褐色に変色し枯れているのを見つけた方も多いと思います。この「ナラ枯れ」は、カシノナガキクイムシ(カシナガ)が病原菌を運ぶことで引き起こされ、根からの水分供給停止により起こる現象で、数年にわたって続くと言われていています。近年の記録的な高温と少ない降水量がカシナガには好条件のようです。市は、虫の侵入や拡散を防ぐために樹木の表面に膜を作る処理剤を施しラップを巻き、必要に応じて伐採し、再び芽が出るように経過を観察しているとのこと。

ナラ枯れの視点でまちを見ていると、年々減少しているとは言え、まだ多くの樹木が、樹林地や屋敷林など様々な形で残っています。かつて、里山の雑木林は、薪や炭などに利用されてきましたが、当時は直径25cm以下で伐採されたため、大被害につながらなかったと考えられています。シイタケ原木としてもコナラは最適です。樹林地の緑を



けやき公園にて



恋ヶ窪樹林地にて

守るため、適切に更新しながらシイタケ栽培なんてどうでしょう。市民活動団体の方々が多くの自然に触れる機会を作られています。国分寺に残る緑をもっと身近に感じ暮らしていきたいものです。
(高瀬かおる)

気候変動は命の問題

2050年 カーボンニュートラルの確実な実現へ

近年、気候変動による熱波や寒波、洪水や干ばつなどが、世界各地で勢いを増しています。日本においても、甚大な被害をもたらす豪雨災害が頻繁に発生し、これまでに経験したことのない猛暑を毎年経験する事態になっています。このことが農作物の生育や生物多様性、私たちの健康にまで広く影響していることを実感します。この気候危機を食い止めるためにも、2050年カーボンニュートラルは必ず成し遂げなければなりません。新たな技術を駆使し、日常生活や産業活動、また建築物や交通インフラなど、あらゆる分野において、脱炭素化を進める必要があります。

第6次エネルギー 基本計画が閣議決定 (10月22日)

政府は2030年までの9年間で、2013年度比46%の温室効果ガスを削減さらに50%に向けて挑戦を続けていくことを表明していますが、それにはエネルギー分野の取り組みが不可欠です。国のエネルギー基本方針を定める「第6次エネルギー基本計画」では、再生可能エネルギーの割合を、36%と、3年前に策定された「22~24%」より10%以上引き上げ、火力については

56%を41%と大きく減らす計画です。原子力による発電比率は「20~22%」に据え置いています。現在の原子力による発電量は、全体の約6%です。

原発は廃止し、再生可能 エネルギーを最優先に

福島第一原発の事故は10年たった今も廃炉の見通しがたらず、増え続ける汚染水の処理の問題もあります。巨大なリスクを抱える原子力発電は即刻廃止にするべきです。また、温室効果ガスを大量に排出する石炭火力発電は、持続可能な脱炭素社会と逆行するものです。気候変動対策は、日本に十分な資源と可能性がある再生可能エネルギーへのシフトこそが重要です。

ただ、太陽光や風力発電の急速な拡大は、適地が少なくなっていると同時に自然環境を損なうと懸念する地域住民とのトラブルが起きているのも事実です。立地地域の自然環境や社会的受容性に配慮した住民合意など、ルール化することは重要です。また、再生可能エネルギーの導入が、地域経済の発展や安全で快適なまちづくりに寄与する取り組みが求められます。

市民参加で エネルギービジョンを

市の施設や事業の温室効果ガス削減は、第4次国分寺市地球温暖化防止行動計画に基づき実施されていますが、市全域での脱炭素については、市民や市内事業者の協力が欠かせません。特に、気候変動に自分たちの未来が壊されると危機感を抱く若者たちの声をエネルギー施策に反映することが重要です。広い市民参加による市域版地球温暖化防止行動計画の策定が必要です。

待ったなしの気候危機にスピード感をもって取り組んでいかなければなりません。
(高瀬かおる)

国分寺ネット活動日誌

- 7月15日(木): 居住支援を考える国分寺の会参加
- 7月19日(火): 放射能測定/市民連合@国分寺のアピール活動参加
- 7月24日(土): オンライン意見交換会「子どもたちの生活について」開催
- 7月29日(木): 市民連合@国分寺の末松義規衆議院議員とのオンライン意見交換会参加
- 8月5日(木): 野川の水质調査参加
- 8月6日(金): 市への要請書「政府に対して、脱炭素、脱原発を進め、再生可能エネルギー電力の割合を高める2030年エネルギー基本計画改定の意見書提出」提出に参加/学習会「デジタル関連法と個人情報保護制度見直し」参加
- 8月10日(火): 野川の水量調査参加
- 8月19日(木): 市民連合@国分寺のアピール活動参加
- 8月20日(金): 居住支援を考える国分寺の会参加
- 8月21日(土): 学習会「stop! 温暖化2021 気候危機を止めるには」参加/学習会「オンライン力っていったい何?」参加
- 8月22日(日): 「労働者協同組合法成立記念フォーラム」参加
- 8月24日(火): 放射能測定
- 8月28日(土): シンポジウム「玉川をめぐる名水と歴史と景観」参加
- 9月3日(金): 学習会「野川の国分寺部分の護岸整備実施を求める陳情について」開催
- 9月4日(土): 学習会「東京都子ども基本条例を学ぶ」参加
- 9月13日(月): 連続セミナー「プラスチックの循環的利用に向けた法制度のあり方」参加
- 9月18日(土): セミナー「自治から考える『自治体DX』」参加
- 9月19日(日): 市民連合@国分寺のアピール活動参加
- 9月21日(火): 放射能測定
- 9月29日(水): 講座「サンゴとサンゴ礁生態系の現状」参加

野川河川整備計画の 早期実現に向けて 署名を集めています!

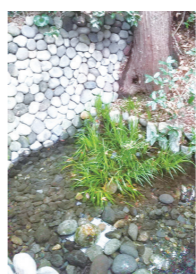
「野川を自然豊かな美しい川に」と野川復活を求める署名を集め、12月都議会に陳情する市民団体に協力しています。国分寺市内を流れる野川が、自然豊かで市民に親しまれ、集中豪雨にも対応できる川とするための都の整備計画は1982年に策定されています。その早期実施を求めています。ご興味ある方はご連絡ください。



コンクリート張りの国分寺部分 親水性のある小金井部分

ふおと日記

10月末の真姿の池脇。湧水の
上流部分に新たに植栽が…。
流れを湾曲しているようだった
がなぜかなあ。こんな時、
掲示があればいいのにねえ。



このレポートは、UDフォントを使用しています。



9月24日にベルリンで行われた気候危機ストップを求めるマーチに10万人が参加(グレッタ・トゥーンベリさんのツイッターより)